ドラマティック日本史　第４弾

平城天皇 VS 嵯峨天皇
～薬子の変から平安京確立へ～

講　師：らくたび代表　山村　純也　先生
日　時：６月９日（月）10：00～11：40

■桓武天皇から平城天皇へ

①第５１代　平城天皇

～寵妃の為に奈良に都を戻すも失敗～

桓武天皇の第１皇子、生来の病弱もあり仕えていた宮女の母の藤原薬子を寵愛したことから桓武天皇の怒りを買うなど、父子の関係は良くなかった。桓武天皇亡きあと即位し、在位３年で嵯峨天皇に譲位して、平城京に戻った。その後遷都の指令を出すなどして政局を混乱させ挙兵したが坂上田村麻呂などに率いられた嵯峨天皇の軍勢に阻まれる。平城京に戻って剃髪して恭順の意を表す。薬子は服毒自殺した。

②「薬子の変」と藤原式家の没落

藤原薬子は長岡京遷都の際に毒殺された藤原種継の娘で、最も有力であった式家の出身

③坂上田村麻呂

④平城天皇の孫・在原業平

■平安時代を安定させた嵯峨天皇

①第５２代　嵯峨天皇

～中国を愛し、平安時代の基盤を構築～

桓武天皇の第２皇子、嵯峨天皇の時代になって弘仁格式の編纂が藤原北家出身の藤原冬嗣を中心に進められ、法整備が整った。嵯峨天皇の中国文化への傾倒もあって貞観文化をもたらした。裏側では弟の淳和天皇に譲位して上皇となった嵯峨天皇の贅沢な暮らしや、多くの皇子、皇女がいたので費用がかさみ（そのため、多くは臣籍降下して嵯峨源氏などが生まれる）晩年は嵯峨離宮（後の大覚寺）を造営した。空海を重用して東寺を下賜した。

②藤原北家・藤原冬嗣の台頭

③藤原北家の台頭と貴族政治の始まり

④絶世の美女と称される檀林皇后

⑤檀林皇后と“帷子の辻”

柩にかけられた帷子（絹や麻糸で織った着物）が風に寄って落ちたことからついたとされる

⑥檀林寺

⑦梅宮神社

⑧檀林皇后九相図

美しかった檀林皇后の肉体が朽ちていく様が９段階に分かれてリアルに描かれている。体が朽ちていく様子を絵に書きとめて、肉体の不浄と無常さを悟られようとしたもの。